



愛知県政記者クラブ同日発表
中部芸術文化記者クラブ同日発表
名古屋音楽クラブ同日発表

平成 25年 8月 20日(火)

(オペラに関すること)

(公財)愛知県文化振興事業団

事業課音楽担当 杉浦・水野

電話 052-971-5609

(トリエンナーレに関すること)

愛知県県民生活部 文化芸術課

国際芸術祭推進室 事業第一G

担当 森岡・小柳津

電話 052-971-6127 内線 724-680、682

あいちトリエンナーレ 2013 プロデュースオペラ「蝶々夫人」の 演出家・出演者が知事を表敬訪問します！

あいちトリエンナーレ 2013 のオペラ公演「蝶々夫人」(9月14日(土)、16日(月・祝))の本番を約20日後に控えた、演出家の田尾下 哲と、主役・蝶々さん役の安藤赴美子、地元出身でケイト役の大須賀園枝が、知事を表敬訪問します。

1 日 時

平成25年8月26日(月) 午後3時00分から午後3時15分まで

2 場 所

愛知県公館

3 訪問者

演出家：田尾下 ^{たおした てつ} 哲

蝶々さん役：安藤 ^{あんどう ふみこ} 赴美子 (ソプラノ歌手)

ケイト役：大須賀 ^{おおすか そのえ} 園枝 (ソプラノ歌手)

4 参 考

(1) あいちトリエンナーレ 2013 プロデュースオペラ「蝶々夫人」の公演概要
別紙1のとおり

(2) 表敬訪問者略歴
別紙2のとおり

あいちトリエンナーレ2013プロデュースオペラ

プッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」 公演概要

(全2幕、イタリア語上演、日本語字幕付き)

会場	愛知県芸術劇場 大ホール
----	--------------

公演日時	2013年 9月14日(土)、16日(月・祝) 両日とも 15:00開演 (14:15開場)
------	---

スタッフ・主なキャスト

指揮： カルロ・モンタナーロ
演出： 田尾下 哲 (たおした てつ)
蝶々さん： 安藤 赴美子 (あんどう ふみこ)
士官ピンカートン： カルロ・バツリチェッリ
領事シャープレス： ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ

あらすじ

19世紀末の港町・長崎。アメリカ海軍の士官ピンカートンは、結婚仲介人ゴローに紹介された15歳の芸者・蝶々さんと結婚式を挙げる。蝶々さんは愛するピンカートンのため叔父の僧侶ボンゾに非難されるのを承知でキリスト教に改宗したが、ピンカートンは、日本滞在中だけの軽い気持ちでしかない。

やがて、ピンカートンはアメリカに帰国し、年月が過ぎるが、それでも蝶々さんは彼が戻ってくる事を信じている。領事シャープレスは、蝶々さんに、もしピンカートンが戻ってこなかったら、と尋ねるが、蝶々さんはピンカートンとの間に生まれた子供を見せ、そんな事は有り得ないと言い張る。ついに、ピンカートンの乗る船が寄港する。蝶々さんと女中のスズキは喜ぶが、ピンカートンは帰らないまま夜が明ける。

スズキが夜通し寝ていない蝶々さんを休ませたところに、ピンカートンとシャープレスが登場し、蝶々さんの子供を渡すように説得するよう、スズキは説き伏せられる。ピンカートンのアメリカ人妻ケイトと対面した蝶々さんはすべてを悟り、子供を渡すことを約束する。そして、父の形見の刀で自刃する。

～表敬訪問者略歴～

●演出家：田尾下 哲（たおした てつ）



Photo: 平岩 亨

兵庫県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。同大学院学際情報学府修士課程修了。オペラ演出をミハエル・ハンペに学び、新国立劇場でチーフ演出スタッフとして約70のプロダクションに参加し、日生劇場、二期会等でも演出を担当。09年、チューリヒ歌劇場『カヴァレリア/道化師』で、共同演出・振付を担当し、ヨーロッパデビュー。以後、コーミッシェ・オーパー・ベルリン『ラ・ボエーム』（アンドレアス・ホモキ演出）、NYリンカーンセンター『神経症ギリギリの女たち』（バートレット・シャー演出）などに参加。ミュージカル演出ではホリプロ『ボニー&クライト』、東宝『ソングス・フォー・ア・ニュー・ワールド』、フジTV『プロミセス、プロミセス』などがあり、劇作家としての活動も控えている。平成21年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

●蝶々さん：安藤 赴美子（あんどう ふみこ/ソプラノ）



北海道出身。国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院声楽専攻（オペラ）修了。新国立劇場オペラ研修所第3期生修了。文化庁派遣芸術家在外派遣員としてイタリアに留学。パオラ・モリナーリ、セルジョ・ベルトッキの各氏等に師事。2009年東京二期会『椿姫』（宮本亜門演出 新制作）ヴィオレッタ役でプリマドンナとしての将来性を十分に印象付けた。2012年びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作オペラ『タンホイザー』エリザベート役で出演。2013年には同プロダクション『椿姫』にヴィオレッタ役で出演。二期会会員。

●ピンカートンの妻ケイト：大須賀 園枝（おおすか そのえ/ソプラノ）



愛知県出身。名古屋芸術大学卒業。第9回全日本ソリストコンテスト声楽部門優秀賞。第4回万里の頂上杯国際音楽コンクール第3位、第113回日演連推薦新人演奏会出演、中日賞、名古屋芸術大学賞受賞。第35回イタリア声楽コンクール・ミラノ部門、36回同シエナ部門入賞。第4回長久手オペラ声楽コンクールファイナリスト。『オベロン』人魚、『カルメン』ミカエラ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『椿姫』ヴィオレッタ等で出演。愛知万博においてセントラル愛知交響楽団「カルメン情話」フラスキータで出演。小林研一郎マエストロサロン、愛知県文化振興事業団コンサートシリーズ等出演。二期会会員。